

# 大阪・関西万博

## 「TEAM EXPO 2025」プログラムについて(抜粋) 2021年9月版

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

### 2025年日本国際博覧会 基礎データ

#### 開催概要

名称 2025年日本国際博覧会(略称「大阪・関西万博」)

テーマ いのち輝く未来社会のデザイン

サブテーマ Saving Lives (いのちを救う)  
Empowering Lives (いのちに力を与える)  
Connecting Lives (いのちをつなぐ)

コンセプト People's Living Lab (未来社会の実験場)

会場 夢洲(ゆめしま)(大阪市臨海部)

開催期間 2025年4月13日(日曜日)～10月13日(月曜日)

来場者数(想定) 約2,820万人

#### 夢洲(ゆめしま)



大阪市内の臨海部に位置する人工島であり、来場者は瀬戸内海の美しい景観に接することができる。世界とつながる海と空に囲まれた万博として、ロケーションを生かした企画や発信を行っていく。

-2025年日本国際博覧会 基本計画より-

### 「TEAM EXPO 2025」プログラム/共創チャレンジについて



「TEAM EXPO 2025」プログラムとは、大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現し、SDGsの達成に貢献するために国内外において多様な参加者が主体となり、理想とする未来社会を共に創り上げていくことを目指すプログラムです。

このプログラムへは、「共創チャレンジ」または「共創パートナー」として参画することができます。

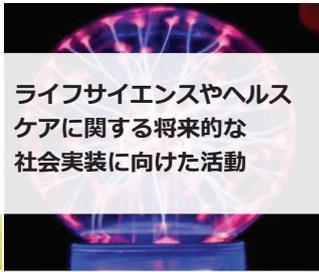
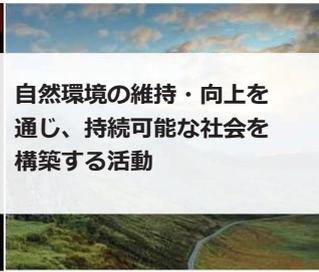
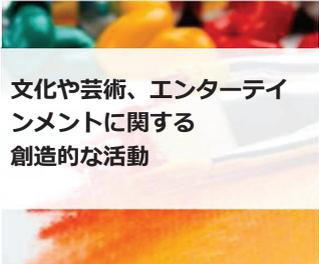
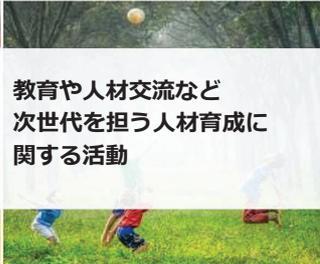
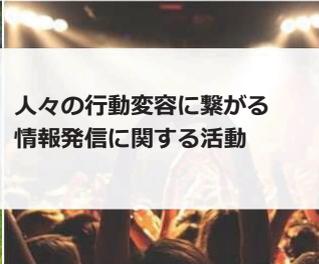
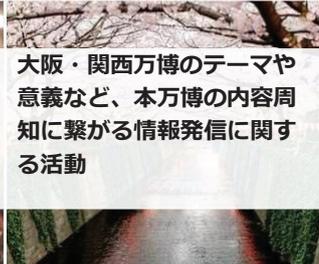
- **共創チャレンジ**とは、自らが描く未来の実現に向けた具体的な活動です。万博のテーマ実現のため、SDGsの達成に貢献するため、チャレンジとしての取り組み内容(未来への宣言、実現のために何をするか、など)をチーム単位で登録してください。分野は問いません。

#### 手段(万博で何をやるのか)



# 「TEAM EXPO 2025」プログラム／共創チャレンジ

## 共創チャレンジの活動例

 SDGsの達成やSociety5.0の実現に向けた活動	 未来の産業創出に向けた活動	 ライフサイエンスやヘルスケアに関する将来的な社会実装に向けた活動	 自然環境の維持・向上を通じ、持続可能な社会を構築する活動
 文化や芸術、エンターテインメントに関する創造的な活動	 教育や人材交流など次世代を担う人材育成に関する活動	 人々の行動変容に繋がる情報発信に関する活動	 大阪・関西万博のテーマや意義など、本万博の内容周知に繋がる情報発信に関する活動

※これらの活動はあくまで一例であり、これらに限らず様々な活動の登録をお待ちしています。

## 2025年に向けたスケジュール（予定）

- TEAM EXPO 2025は2025年、またその先の未来に向けて、成長し続けるプログラムです

会期前				会期中	会期後
～2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年～
多様な取組みの参加・共創の推進 国内の展開強化・グローバル展開推進				大阪・関西万博を 未来共創の聖地に	SDGs+beyondに 向けた未来づくり
未来に向けてチャレンジをする多様な事業者の参加促進 (共創チャレンジ、共創パートナーの登録)				万博会場内の <b>ベストプラクティス展示エリア</b> や会場外、オンラインなど <b>様々な空間との連携</b> において、本プログラムの活動をPR・紹介	種々の取組みをレガシーとして継承 “万博だからできた、万博からはじまった”
テーマフォーラム等、各種イベントの開催による共創推進					
Webサイト等デジタルプラットフォームにおける発信による認知拡大					

以下は、2025 年日本国際博覧会協会のHPから転記したもの。イベント学会は、同協会が提唱する「TEAM EXPO 2025」プログラムに、地球産業文化研究所と共に「共創チャレンジ」を創出・支援する「共創パートナー」として、登録している。

## イベント学会 共創パートナー

2021. 11. 04



### 地球産業文化研究所との共同による共創チャレンジの創出

愛・地球博が実現した「市民参加」の理念を継承し、大阪・関西万博の成功と万博の発展、万博による社会の持続可能な発展に貢献するために、地球産業文化研究所と共同し、「歴史文化」「水と流域」「自然遺産」をテーマとする3つの共創チャレンジを推進します。

また、イベント面での企画・運営等の専門性の提供を通じて、共創チャレンジの創出を支援します。

#### ■未来への宣言

万博の発展と、万博による社会の持続可能な発展に貢献します。

#### ■きっかけ

2005年日本国際博覧会（愛・地球博）は、国・地方自治体、企業と並ぶ「第3のエンジン」として、テーマである「自然の叡智」即ち自然の摂理に謙虚に学び持続的発展を図る社会を実現する上で不可欠な主体として、万博史上初めて、市民（NPO/NGO 含む）を万博の主要参加者と位置けました。大阪・関西万博が推進する TEAM EXPO 2025 は、多様な組織、人々の叡智を結集し、社会の持続的発展を図るものであり、愛・地球博が実現した「市民参加」の理念と通じるところがあります。

多くの愛・地球博関係者が参画し、世界2大イベントである万博の発展を希求するイベント学会は、上記の経緯および共通点を踏まえ、2005年日本国際博覧会の継承団体であり、愛・地球博の理念継承、発展を図る（一財）地球産業文化研究所と共同し、TEAM EXPO 2025 に参加することとしました。

#### ■創出・支援したい共創チャレンジ

万博の発展および万博による社会の持続可能な発展に貢献するために、以下の共創チャレンジを推進します。

- (1) 関西の世界文化遺産、無形遺産等の集積を持続可能なまちづくりに生かす「関西・歴史文化首都フォーラム」
- (2) 愛・地球博の地球市民活動から生まれた「いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話」
- (3) 国内5世界自然遺産（屋久島、白神、知床、小笠原、奄美沖縄）に見る「自然と社会の共生と未来に残すべき人類の遺産」

上記共創チャレンジを創生し、具現化するために、イベント学会と地球産業文化研究所で構成される企画委員会を設置します。企画委員会は、共創チャレンジとして取り組むプロジェクトの選定、プロジェクト実現のための支援等を行います。

上記チャレンジのほか、イベント学の知見を生かし、イベント学会として、共創チャレンジの支援を行なってまいります。

### ■提供できるリソース

技術・ノウハウ	イベントに関する知見の提供（国内外の博覧会をはじめとする大型イベントの計画・準備・運営・評価に関する専門的知識やノウハウ）
人材	イベント学会に参加している多様な個人会員（思想家、研究者、実務者、技術者、表現者など）、賛助会員（イベントに関連する企業・団体等）
ネットワーク	地球産業文化研究所が有するヒューマンネットワーク（愛・地球博を牽引した有識者、プロデューサー、国際的万博ムーブメントを牽引するBIE関係者など） イベント関連企業のネットワーク団体である（一社）日本イベント産業振興協会 イベント業務管理者の加盟団体である日本イベント業務管理者協会 イベント学会会員が所属する大学等の教育機関（スポーツイベント、アートイベント、広報コミュニケーション、地域振興など）
情報発信・PR	イベント学会が開催する研究大会、東日本・中部・西日本の地域本部が行っている研究活動、オンライントーク、メールマガジン、公式ホームページ等における情報発信・PR （一社）地球産業文化研究所のホームページ、刊行物等での情報発信・PR

### ■今後の展開

今後展開したい地域	(1)(2)(3)の共創チャレンジについては、今後中核となる推進地域を設定しつつ、いずれのチャレンジにおいても、全国・世界に広がる活動とすることを目指します。 その他、イベント学会本部または東日本・中部・西日本の地域本部等を窓口として、イベント構想・企画の支援から、実施運営にあたってのサポート・助言など、プロジェクトや活動の各フェーズでのサポートを実施します。
共創を希望する方々	3つの共創チャレンジの内容に関心を持ち、共創を希望される企業、団体、自治体、教育機関、NGO・NPO、個人など。 その他、イベント学の知見（イベントに関する構想、計画策定、運営等の専門知識）を必要とされている企業、団体、自治体、教育機関、NGO・NPO、個人など

### ■大阪・関西万博のテーマとの関わり

イベント学会と地球産業文化研究所が推進する共創チャレンジはいずれも大阪・関西万博が目指すSDGsの達成に直結しており、学術的にも興味深く、大阪・関西万博の質的向上と全国的な盛り上げに貢献することが期待されます。

## ■SDGs との関わり



4「質の高い教育をみんなに」・・・学会という団体の性質上、教育に関係している会員が多く、3つの共創チャレンジにおいても「学び」の機会を重視している。

8「働きがいも経済成長も」・・・3つの共創チャレンジにおいて環境と経済成長の共生を志向している。

11「住み続けられるまちづくりを」・・・3つの共創チャレンジにおいて持続可能な地域社会の発展を目指している。

## ■イベント学会

イベントに関する情報や知識、ノウハウなどを集積し、イベントの社会的価値や具体的技法を調査、研究、開発するとともに、その成果を社会に還元することを目的に、新たな学問領域「イベント学 (EVENTOLOGY)」を探究する会員で構成される団体。1998年発足より年に1度の研究大会の開催やイベントにまつわる研究助成支援などを展開している。

会長：中村利雄（愛・地球博事務総長、日本商工会議所顧問）

会員数：180名 賛助会員：28団体（2021年9月現在）

≪（一財）地球産業文化研究所≫

（一財）地球産業文化研究所は、地球的視点から産業・経済と資源、環境、生活、文化との好ましい関係のあり方、地球人類の持続的繁栄を図るための地球経済社会のあり方等の調査研究を行い、総合的な政策を国の内外に向けて提言し、これらの研究に関する国際交流を促進するとともに、「自然の叡智」をテーマとして開催された2005年日本国際博覧会の基本理念の継承、発展に関する事業を行い、もって地球社会の繁栄に貢献しています。

理事長：新井光雄

## ■情報発信



<https://eventology.org/>

<https://www.facebook.com/eventology.org>

イベント学会 共創パートナーに関する連絡先

守屋慎一郎（イベント学会理事・副事務局長／合同会社企画室代表）

moriya@kikaku-shitsu.jp